

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	米加田 徹
所属機関名	獣医学部 獣医学科
職位	准教授
在籍年	3

教育の責任

学科の専門教育において、水産・水族関連分野を中心とした教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は水産増養殖学，魚病学実習，発生工学，国際展示動物学などである。また，2年生のクラス担任業務を持っている。学部生の学修指導だけでなく、ゼミ生の研究指導や研修の連絡役の役割も担っている。加えて修士課程に所属する学生の研究指導を行っている。

教育の理念

試験対策のための知識だけではなくて、産業の現場で起こる問題を解決するためにどのような取り組みが行われているのかを知り、その基盤となる知識や技術について自らが必要性を感じて学ぶことを後押ししたいと考える。そのためにも多くの経験を通して幅広い視野を持った人材の育成に取り組んでいきたい。社会で直面する問題を自ら解決する方法を考える力を身につけ、社会に還元ができるような人物への成長を願っている。

教育の方法・方針

獣医国家試験では「魚類の飼育・衛生管理」が試験科目とされており、獣医学部における魚病学教育の充実が図られている。ところが、多くの獣医学生にとって水産分野はあまり馴染みのない領域で、魚病学に苦手意識をもつ学生も少なくない。当然のことながら水産に関する基礎的知識のない状態では理解が及ばないということも一要因であると考えられる。まずは、水産業も畜産業と同じように身近な産業であるという認識を持つことが、学問の壁を取り除くための第一歩であると考えている。そこで、これまで水産物の防疫に携わってきた経験や知識を講義や実習に活かし、生産現場から加工・流通の実情なども交えて伝えることで、水産分野への興味・関心を促している。またリスト獣医師（水産獣医師）の水産分野における役割について時間を取って紹介しており、水産業界における獣医師の重要性を知る機会を設けている。このような取り組みによる好奇心の育成が、学習意欲の向上に繋がることを期待している。

教育の成果

講義内では紹介しきれなかった部分について質問を受けることもあり、興味・関心を示す学生も見受けられるようになっている。また、授業アンケートでは、「水産分野に獣医師が関わっているという事実に驚いた」、「これまで全く知らない分野だったので新鮮で楽しかった」、などのコメントを受けている。さらには、農水が推進している水産獣医師に登録したい、という大変嬉しいコメントもあり、なお一層学生が水産に興味を持てるような講義を心掛けたい。アンケートの回答があった8割以上の学生から、水産分野への理解が深まったとの回答を得ている。

今後の目標

ひとりでも多くの学生が水産に興味を持ち、本分野の理解がより深まるよう配慮した講義に取り組み、今後魚病学の学習に活かすことのできる基礎知識を身に付けてもらえるように努める。

将来的には水産分野にも貢献できる人材の育成を目標とする。いまはまだ数少ない水産獣医師ではあるが、多くの本学出身者が登録される日が来ることを期待している。

根拠資料

講義スライド，レジメ，課題レポート，授業評価アンケート